

国語 第4学年 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう 検討会の想定問答

指摘 1：ねらいが曖昧ではないか。この単元で何を身に付けさせたいのか。

返し：読むことの中心はC(1)ウの「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること」、書くことの中心はB(1)ウの、考えと理由や事例との関係を明確にして書き表し方を工夫すること。二つは「知識及び技能」(2)アの、考えと理由や事例の関係でつながっていて、読む時に使った枠を書く時にも使う。

指摘 2：評価規準は何か。どこで見るのか。

返し：3観点で書いた。文末は国立教育政策研究所の参考資料に合わせ、知識・技能と思考・判断・表現は「～している」、態度は「～しようとしている」。知識・技能①は第7時のカードと第10時のリーフレットの引用と出典、②は第5時の読書記録、思考・判断・表現①は第3・4時のノート、②は第9時の組み立てメモと第11時のリーフレット、態度①は第1時、第11時の見直し、第12時の振り返りで見える。

指摘 3：言語活動は何か。

返し：読むことはC(2)アの「記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動」。要約と自分の考えを伝え合う。書くことはB(2)アの「調べたことをまとめて報告するなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動」で、調べた工芸品のよさをリーフレットに書く。

指摘 4：要約の目的が先生から与えられている。子どもの目的になっていないのではないか。

返し：単元の初めに、リーフレットで工芸品のよさを伝えるという単元のゴールを子どもと決めてあり、本時の「家の人に伝える」はそのための練習として子どもに示す。次の時間に目的を変えて要約し直すので、目的が変わると要約が変わることを子ども自身が確かめる。C(1)ウの「目的を意識して」は、この比べる学習で身に付ける。

指摘 5：個に応じた指導はどうするのか。

返し：書くのが苦手な子には、まとまりごとに中心となる文を書き写す枠のあるワークシートと、つなが言葉の一覧を渡す。調べる時は、先生が選んだ本とウェブサイトから選ばせ、探す時間を減らす。早く終わった子には目的を変えた要約を考えさせる。第3の1(9)の「困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫」に当たる。

指摘 6：ICTは使わないのか。

返し：第7時の調べる学習で、先生が選んだウェブサイトを端末で見る。サイトの名前を出典としてカードに書かせる。リーフレットは端末の文書作成で作ってもよく、写真を使う時は出典を書かせる。第3の2(2)の「コンピュータや情報通信ネットワークを積極的に活用する機会」に当たる。端末が無ければ本と事典で調べ、紙に書く。

指摘 7：三重県の学級ならではの工夫はあるか。

返し：紹介する工芸品に、三重県の経済産業大臣指定の伝統的工芸品（伊賀くみひも、四日市萬古焼、鈴鹿墨、伊賀焼、伊勢形紙）を候補に入れられる。三重県のウェブサイトに一覧がある。社会科第4学年の「県内の特色ある地域の様子」で、伝統的な技術を生かした地場産業が盛んな地域を学ぶ時期と合わせれば、調べた材料を両方で使える。教材は第3の3(2)クの「我が国の伝統と文化に対する理解と愛情を育てるのに役立つこと」に当たる。

指摘 8：教科書の手引きどおりでいいのか。独自性はあるのか。

返し：手引きは指導事項に沿って作られているので外す理由はない。この指導案は指導事項から組んであり、教材を替えても使える。独自の所は、目的を変えて要約を比べる時間を置いたことと、読む学習の「考え」「理由・事例」の枠を、書く学習の整理と割り付けにも同じ形で使うこと。

指摘 9：12時間は多い。時間が足りない。

返し：12時間は光村図書の年間指導計画例の配当（読むこと6時間・書くこと6時間）に合わせた。削るなら、第4時の目的を変えた要約を家庭学習にし、第5時の本を読む時間を学校図書館の時間と重ねる。第3の2(3)に、学校図書館を目的をもって計画的に利用するとある。配当は年間指導計画に合わせる。

指摘 10：発問が多すぎないか。

返し：本時の中心発問は「このまとまりで、大牧さんがいちばん伝えたいことはどの文か」の一つ。導入の問いは目的を確かめるため、ペアの問いは要約を比べるためで、どちらも中心発問の答えを確かめる手順。全体には中心発問だけを板書する。

指摘 11：道徳の授業にならないか。工芸品を大切にしようで終わらないか。

返し：本時で扱うのは、目的に合わせて語や文を選ぶことで、工芸品を大切にすることの気持ちを書かせることは目標にしている。第3の1(10)に道徳科との関連は「国語科の特質に応じて」とあり、伝統と文化について書かれた文章を正確に要約することがその関連に当たる。

指摘 12：学習指導要領のどこに書いてあるのか。

返し：第2〔第3学年及び第4学年〕2内容C読むこと(1)ウと(2)ア、B書くこと(1)ウと(2)ア、〔知識及び技能〕(2)ア・イ、(3)オ、学年の目標(3)。原文は授業の設計図の「学習指導要領のどこに書いてあるか」の欄に載せた。

AIが作成した授業案です。授業での検証は未実施です。自校の教材・年間計画・学級の実態に合わせて確認してください。



Threads「三重でAI使うなら」(@mie_ai_katsuyo)
https://www.threads.com/@mie_ai_katsuyo

LINEオープンチャット
みえ先生ラボ

